



学会ホームページ <http://jasce.jp>

037号(2017年3月29日)

目次

- 学会ワークショップ
待望の<マスター>を開催
- 2017年全国大会
- 会員情報の変更届
- 会費の納入のお願い
- 学会誌『協同と教育』発刊について
- 学会ワークショップ開催報告
- 学会ワークショップ 今後の予定
- 各地の研究会・勉強会
- 出版情報

学会ワークショップ

待望の<マスター>を開催

去る3月4日(土)～5日(日)、中京大学名古屋キャンパス0号館0604教室にて、マスター(上級)コースを開講しました。1月末日から学会HP等で開催を告知し、2月末日の締切を待たずに定員12名を満了することになりました。2日間にわたって充実した研修を行うことができ、講師陣一同、とても嬉しく思っております。

マスター(上級)コースは、学会公認のワークショップのうち、ベーシック(初級)コースの認定トレーナーを養成するものです。受講者が自立的な実践者・研究者として自らの学習指導論を確立し、協同教育に係る研修を企画・実践できる力を育成することをめざしています。

そのため、受講要件が他のコースと大きく異なります。アドバンス(中級)コースを修了された方のうち、1年以上にわたって協同学習に関する研究もしくは教育実践の実績を積み、実績報告書を提出することが必要です。また修了認定は、2日間のワークショップに参加することに加え、事前課題と事後課題への取組内容を含めて総合的に行うことになっています(詳細は学

会HPをご確認ください)。

当日は受講者とはほぼ同数の講師が参画し、2～3名で2日間の午前・午後のセッションを担当しました。その主な内容は次の通りです。

- 第1日午前:ベーシックとアドバンスの内容確認・質疑(関田・須藤)
- 第1日午後:協同教育の思想・基礎理論・知識の確認(安永・石田)
- 第2日午前:国内外諸派の整理(高旗・水野・伏野)
- 第2日午後:研究的実践と実践的研究(杉江・中西・緒方)

※上記の講師陣のほか、オブザーバーとして長濱文与先生、水谷茂先生にもご参加いただきました。



受講者の皆さんは、平成30年度末までに2つの事後課題(「一日研修」を自ら企画し実施することと、スーパーバイズ付のベーシック(初級)コースの講師を担当すること)に取り組むこととなります。限られた時間の中ですが、いずれも大切な課題ですので、よりよい成果を上げられることを期待しております。

なお、マスター(上級)コースの次回開講は1～2年後をめどに予定しています。受講をご希望の方は本年度の要項(<https://jasce.jp/docs/WS-Master-20170304-05.pdf>)を参考にいただき、いまのうちから準備をはじめておかれることをお勧めします。(研修委員長 高旗浩志)

2017年全国大会

第14回JASCE全国大会を岡山大学教育学部で開催します。現在、

準備委員会を立ち上げ、開催に向けて鋭意努力中です。現時点で確定している日程をお知らせします。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

1. 日程

プレ大会:10月27日(金)・・・会場:岡山県立倉敷青陵高等学校(公開授業研究会)

大会1日目:10月28日(土)・・・午前・午後(午後は西岡加名恵先生(京都大学)をお招きして講演会を開催します)

大会2日目:10月19日(日)・・・午前・午後

※大会1～2日の会場は岡山大学教育学部(岡山市北区津島中3-1-1)です。

2. 発表募集等にかかる日程は5月のニュースレターでお知らせします。

(大会実行委員長 高旗浩志)

会員情報の変更届

年度がわりの異動や転居などにもなると、所属・住所・メールアドレス等の変更があった場合、すみやかに会員情報変更をお願いします。届け出は学会ホームページの「会員情報変更フォーム」から随時可能です。
(<https://www.jasce.jp/php/1044form.php>)

会費の納入のお願い

2017年度会費納入のお願いが、お手元に届いたと思います。よろしくお願ひします。今年度(2016年4月～2017年3月)会費支払いがまだの方は早急の納入をお願いいたします。3年度を超えて会費が未納となった場合、自動的に退会扱いとなりますのでご注意ください。

学会誌『協同と教育』発刊について

本年度は学会誌の発刊が遅れています。ほどなく送付作業に入ります。今しばらくお待ちください。

JASCE

学会ワークショップ開催報告

● <ベーシック>開催報告

3月11日(土)~12日(日)【主催】

創価大学 教職大学院棟
(八王子市)

講師:太田昌宏

今回のワークショップには、校種、教科を超えて多様な背景をもつ参加者(21名)が集まりました。初日の最初の休憩時間からどなたも席を立たず、教育について語り合う様子から、参加者の熱心さが感じられました。また、講座内容への疑問点を考えていただいたところ、鋭い質問、深い質問が次々に寄せられ、講師の私自身が考え込んでしまう場面もありました。講師も一学習者として取り組むことができ、教室の一体感が生まれました。充実した学びの時間と空間を参加者とともに共有できたことをとてもうれしく思います。(太田昌宏)



3月11日(土)~12日(日)【主催】

鳥取看護大学(倉吉市)

講師:安永悟・須藤文

仙台、熊本に続き、復興支援ワークショップを開催することができました。中国地方では初めてのベーシック開催となりました。参加者は31名。鳥取県内から11名、県外から20名の参加でした。初めの自己紹介から、和やかな雰囲気が醸し出され、笑いの絶えない研修になりました。質問や意見が活発になされていたことが印象に残りました。懇親会にも23名の参加があり、遅くまで盛り上がりました。来年度

も、同じ時期に、倉吉でベーシックを開催してほしいという声も寄せられています。



最後になりましたが、鳥取看護大学の皆さんのご協力に、深く感謝いたします。(須藤文)

● <アドバンス>開催報告

3月11日(土)~12日(日)【主催】

創価大学 教職大学院棟
(八王子市)

講師:伏野久美子

今回は15名の方が参加して下さり、北海道から3名もの方がいらして、お忙しい中わざわざ東京まで学びに来てくださった熱意に頭が下がる思いでした。今回は、アドバンスのワークショップに参加するのは初めてという方が大多数で、みなさん、ハードなワークショップに少し面食らいながらも、ベーシックで理解しきれなかったことを再確認したり、さらに協同学習・協同教育についての理解を深めていただいたりしたようです。何を学んで欲しいのかをはっきりさせたいうえで、それを助けるにはどの技法を用いたらいいか、技法の裏にはどのような考えがあるのか、ということを考え、追究した2



日間でした。このワークショップで一緒に学んだことを実践で生かしていただけたらうれしく思います。

(伏野久美子)

● 協同学習ワークショップ

<一日研修>を開催

2017年2月19日(日)

石川県こまつ芸術劇場うらら2F会議室

講師:有本高尉・水谷茂

北陸の地、小松で行うワークショップは2年ぶりの開催です。今回は中学校・高校の現場の先生方を中心に9名の参加がありました。午前中はグループでの話し合いを交えながら協同学習の考え方や協同の授業づくりについて理論を学びました。

午後からは、俳句の授業体験を中心にしたワークショップで、協同の様々な手法を留意点とともに体験を通して学びました。研修を締めくくる振り返りシートには、ほとんどの方が研修で互恵的な関係や個人の責任・相互交流・協同的な活動がよくできた回答していました。そして、積極的に話し合うことで学びが広がり授業づくりにヒントが得られ、グループの方に感謝しますという感想を記していました。参加人数は少なかったのですが、このような実感を伴う研修で協同の良さを多くの地域に広げていくことの重要性を改めて感じました。(水谷茂)



スクランブル交流の1コマ

JASCE

学会ワークショップ今後の予定 (判明分)

<ベーシック>

◇6月10日(土)~11日(日)【主催】

会場:中京大学(名古屋市)
名古屋学舎0604教室
講師:未定

◇7月29日(土)~30日(日)【主催】

会場:創価大学(八王子市)
教職大学院棟V409教室
講師:未定

◇8月26日(土)~27日(日)【公認】

会場:南山大学(名古屋市)D棟
講師:石田裕久・長濱文与

◇12月9日(土)~10日(日)【主催】

会場:中京大学(名古屋市)
名古屋学舎0604教室

講師:未定

<アドバンス>

◇6月10日(土)~11日(日)【主催】

(開催検討中)
会場:中京大学(名古屋市)
名古屋学舎0605教室
講師:未定

◇7月29日(土)~30日(日)【主催】

会場:創価大学(八王子市)
教職大学院棟V309教室
講師:未定

◇11月11日(土)~12日(日)【公認】

会場:南山大学(名古屋市)D棟
講師:石田裕久・関田一彦

◇12月9日(土)~10日(日)【主催】

(開催検討中)
会場:中京大学(名古屋市)
名古屋学舎0605教室
講師:未定

<一日研修>

◇11月26日(日)

会場:中京大学(名古屋市)
名古屋学舎0604教室
講師:水谷茂

※受付状況は日々変化します。お申し込み方法は以下のアドレスにあります。

(<https://jasce.jp/1031workshop.php>)

各地の研究会・勉強会

(東北地域)

仙台で協同学習を学ぶ会

◇次回の勉強会は6月24日(土)13時~16時に開催します。会場はTKPビジネスセンター。講師に渡辺正雄先生をお招きします。

(名古屋・東海地域)

協同学習と動機づけ研究会(三重県)

◇第1回研究会の報告

平成29年2月4日(土)14:30~18:00に三重大学環境・情報科学館3階PBL演習室3・4において第1回研究会が開催されました。第1回研究会には20名の参加者がありました。

まずアイスブレイキングが行われた後、研究会世話役の中西から研究会設立の趣旨説明がなされました。こ

れに続き、今後の研究会で取り扱いたい内容についてアイデアを出すというブレインストーミングが行われました。研究会の後半では、協同学習の要件にも関わるGroup Processingについて、動機づけを高めることにつながるGroup Processingを考えるという活動が、ジグソー法での資料共有を行いながら進められました。これらの活動においては、非常に興味深い意見が各グループから出され、それらが全体で共有されました。

研究会の中での話し合いはいずれも非常に熱のこもったものであり、今後の展開が非常に楽しみになるような、大きな「期待」を感じられる会となりました。連絡先:中西良文
(nakanishi.yoshifumi@mie-u.ac.jp)

(大阪地域)

協同学習を用いた看護教育研究会

◇3月24日の研究会

今回は杉江修治会長をお迎えて開催することができました。埼玉、東

京、静岡、愛知、大阪、兵庫、福井、佐賀、熊本、福岡から31名の参加者(定員超え)がありました。最初に杉江先生より「協同学習の理論と実践-看護教育におけるアクティブな学びづくりの基礎と応用-」についてお講義を受け、その後、日頃の授業実践・研究を振り返りながら小グループでのディスカッションを行い、先生との質疑応答を全体で共有しました。協同学習が目指す学力とは、協同原理を踏まえた効果的な授業づくりのポイント、学生の学びの構えをつくるための課題提示・意義づけの大切さなど、杉江先生の具体的な事例を通しての説明がとてわかりやすく深い学びを得ることができました。新年度への教育活動に向け新たな知見や勇気づけを得



JASCE

ることができ、終了後の懇親会にも29名の方が参加され対話が弾みました。次回は、5年一貫校での授業実践についてご発表いただき学び合う予定です。

◇今後の開催予定

場所: グランフロント大阪北館2階 ナレッジキャピタル The Lab アクティブスタジオ

時間: 19時～21時

日程: 2017年度5月26日、7月28日、9月29日、11月24日、1月26日、3月23日

参加申し込み先 緒方巧(梅花女子大学 t-ogata@baika.ac.jp)

(岡山・中国方面)

協同学習研究会

◇協同学習研究会(1月EXTRA及び3月研究会)の報告

2017年1月28日(土)午後2時～4時30分、岡山大学教師教育開発センター東山ランチを会場に、岡山市立豊小学校教諭の宮本真也先生に「初めての6年担任としての授業づくり・学級づくり」と題してご発表頂きました。また3月4日(土)午後2時～5時30分、同会場にて岡山県立倉敷中央高等学校の瀬田幸一郎先生に2年生の理科(化学)の授業についてご発表頂きました。採用後間もない若い先生による意欲的な挑戦に、参加者一同、多くの学びを得ることができました。

◇今後の開催予定

平成29年度の開催日程は、第1回: 7月15日、第2回: 9月2日、第3回: 12月2日、第4回: 平成30年3月3日、いずれも土曜日の午後2時～5時30分、岡山大学教師教育開発センター東山ランチで開催します。第1回は岡山県立鳥城高等学校の居上真也

先生(理科)、第2回は米子市立東山中学校の中村祐介先生(数学)にご発表頂くことになっています。第3回以降で発表のご希望をおもちの方は高旗までお知らせください。なお、上記の定例の4回他、次年度も随時「EXTRA」を開催予定です。

連絡先: 高旗浩志(岡山大学教師教育開発センター)

E-Mail: takahata@okayama-u.ac.jp

(福岡・九州方面)

授業づくり研究会

◇第38回研究会の報告

2016年2月4日(土)午後1時～午後5時、久留米大学御井キャンパスで開催しました。「協同学習の組織的な取組: 福岡県立輝翔館中等教育学校の事例」をテーマに、同校の鹿

田智弘先生・前原一央先生にご登壇いただきました。鹿田先生から「協同学習の組織的な取組」について説明をいただいた後、前原先生による「協同学習による短歌の授業」を体験し、議論を深めました。協同学習の理論と技法がしっかりと根付いた授業であり、すべての教科の授業づくりの参考になるものでした。

◇今後の日程

今後の開催日は、5月13日(土)、9月30日(土)、11月18日(土)。午後1時～午後5時。会場は久留米大学御井キャンパス、ミーティングルーム3です。本研究会への参加申込みは安永悟研究室のHPからお願いします(<http://yasunaga.me/wiki.cgi>)。

連絡先: 安永悟

(yasunaga_satoru@kurume-u.ac.jp)

出版情報

●最初に読みたいアクティブラーニングの本

「アクティブラーニング」の古典がついに邦訳されました。ボンウェルとエイソンが1991年に出版した“Active Learning: Creating Excitement in the Classroom”は、アクティブラーニングに関する最初期の文献として、日本の関係者に認識されています(溝上、2014)。アクティブラーニングが当時のアメリカの大学でどのように認識され、導入・展開が進んでいったのか、日本の大学教育とも重なる部分の多い、今読んでも示唆に富む好著です。



チャールズ・ボンウェル、ジェームス・エイソン著。高橋 悟 監訳。海文堂出版。

●学習者中心の教育: アクティブラーニングを活かす大学授業

アクティブラーニングはその内実に様々な教育方法や教育理念を含んでいます。それらのベースにある「学習者中心の教育」という観点に立ち、学習者の自立を促す授業法や授業デザインについて論考しています。メルリン・ワイマー(ペンシルバニア大学名誉教授)著。関田一彦・山崎めぐみ監訳。勁草書房。

